

越前小学校の経営方針（校訓、教育目標等）について

1 校訓について

- ・校訓とは、学校で訓育上の理念・目標を成文化したもの。※訓育…教え育てること
- ・教職員にとっては、学校全体で共有する価値観であり、児童生徒を指導する際の指針となるものである。児童生徒にとっては、学校への帰属意識を持ち、協力してものごとに取り組むための重要な要素となる。地域にとっては、校訓の理念を共有して共に活動を行うなどにより、コミュニティの拠点である学校への信頼が得られることが期待できる。（校訓に係る文科省報告書より一部抜粋）

2 教育目標とスクールプランについて

- ・学校は、教育目標として目指す児童生徒像や教育方針を示しており、校長により変更されることもある。校訓が不易ならば、教育目標は流行と言える。しかしながら、その区別は曖昧で、校訓と同じような文言を教育目標として、校訓そのものがない学校も少なくない。
- ・校長は、児童生徒の実態や学校・地域の特性を踏まて、教育目標達成のための具体的方策等を明示したスクールプランを年度の初めに策定して、学校経営に当たる。

3 町内の学校における校訓の現状について【別紙参照】

- ・校訓を設けている学校 … 2 小学校（四ヶ浦、城崎）、4 中学校（全中学校）
- ・校訓を設けていない学校 … 6 小学校
- ・校訓とは別に、「目指す児童像」等が長年親しまれている学校 … 3 小学校

4 越前小学校の新たな学校づくりについて

- ・校訓については、来年4月の開校に合わせて、新たに作成はしない。
- ・開校初年度の教育目標は、四ヶ浦小、城崎小両校長が今年度中に協議して決定する。
- ・スクールプランは、新体制において校長を中心に教職員が協議して策定する。保護者や地域住民に対して適宜説明を行い、その内容が十分に理解されるように留意する。
- ・校訓については、開校時、または節目の年に作成されることがあるが、例えば、形式にとらわれずに、児童や保護者とともに、親しみやすいスローガンや標語づくりを行うことも考えられる。新しい学校づくりに、児童や保護者がより主体的にかかわることが期待できる。